

2014年10月3日

報道関係各位

ウォール・トーキョー突破広告 第1弾 諸事情により一部画像修正アリ！！

「進撃の巨人展」

衝撃のデジタルサイネージ広告を展開

10月6日(月)より1週間限定で都営大江戸線六本木駅ホームをジャック！

「進撃の巨人展」スペシャルサイト
<http://www.kyojinten.jp>

『別冊少年マガジン』で連載中の人気漫画「進撃の巨人」は、11月28日(金)から上野の森美術館にて「進撃の巨人展」を開催致します。開催に先駆け、10月6日(月)より都営大江戸線六本木駅ホームにて、「進撃の巨人展」のデジタルサイネージ広告を1週間限定で展開致します。

初となる原画展示はもちろん、リアルスケールの立体造形展示など、作品の世界観を存分に体感できる本展は、ご好評につき既に開催初日のチケットも完売。今回展開するデジタルサイネージ広告は、開催を待ちわびるファンも衝撃のグラフィックとなっています。そのビジュアルは大胆にも巨人の“食事中”シーン。本編では決してみることのない、一部画像処理を施した姿は必見です。六本木を“陥落”させた彼らは、上野を目指して進行するのか？「進撃の巨人展」開催に向けた今後の展開にも乞うご期待ください。



▲デジタルサイネージ広告(一部)※画像をご掲載頂く際には以下コピーライト表記の記載をお願い申し上げます。
©諫山創・講談社/「進撃の巨人展」製作委員会

【「進撃の巨人展」ウォール・トーキョー 突破広告 第1弾】

期間:2014年10月6日(月)~2014年10月12日(月)

場所:都営大江戸線六本木駅ホーム

「進撃の巨人展」Twitter / facebookページ 公式アカウント開設！

「進撃の巨人展」ではTwitterおよびfacebookページの公式アカウントを開設しています。

ここでしか手に入らない情報を随時更新中です。

@kyojinten

<https://www.facebook.com/kyojinten>

<参考資料>

【「進撃の巨人展」開催概要】

漫画「進撃の巨人」の原画はもちろん、絶望と恐怖に彩られた物語の世界観や、巨人との戦闘で沸き立つスピード感を体感できる、造形や立体映像をも融合させた総合展示となります。漫画という平面世界から立ち上がり、観る人の五感をゆさぶる迫力を、ぜひ全身でご堪能いただきたいと思ひます。

■タイトル 進撃の巨人展

■会 期 2014年11月28日(金)～2015年1月25日(日)
先行公開日程:11月28日(金)・29日(土)・30日(日)
※開催初日28日(金)のチケットは完売。

前期日程:12月1日(月)～12月31日(水)

後期日程:1月1日(木)～1月25日(日)

※休館日無し(年末・年始も開催)

■会 場 上野の森美術館

(住所:東京都台東区上野公園1-2 TEL:03-3833-4191)

■主 催 「進撃の巨人展」製作委員会

■開催時間 平日 | 10:00 - 17:00 土日祝 | 10:00 - 20:00

※12/30、12/31、1/1、1/2は祝日扱い

※チケットは全て全日・日時指定です。詳細は特設サイトをご参照ください。

■展示内容

<リアルスケール超大型巨人>

原画展史上空前の造形展示。1分の1リアルスケールで「超大型巨人」を立体造形化し、まるで物語の世界に足を踏み入れ、本物の巨人に遭遇したかのような恐怖を演出します。立体的なオブジェクトだけが訴え得る迫りくる恐怖は、美術館を離れた後もいっそう印象深く、物語にリアリティーを与え続けます。

<生原画 + 諫山創 特別描き下ろし原画展示>

諫山創の作品世界が生まれるプロセスにふれることができる、生原画の展示を行います。「進撃の巨人」の原画の展示は、本展が初となります。また、本展のために特別に描き下ろした画も同時公開いたします。

<オープニングシアター「上野、陥落の日」>

入館後、一気に「進撃の巨人」の物語世界へと誘う、全身体感型オープニングシアター。一人の“人類”である観覧者は、そこで初めて巨人と遭遇し、その恐怖と絶望を体験することになります。映像、音声、振動などのギミックが観る人を刺激し、シアターを超えた体験を提供します。

<アニメ声優による音声ガイド>

館内の展示をより深く楽しんでいただくために、アニメ版「進撃の巨人」の声優陣録り下しの音声ガイドをご用意しています。出演は、エレン、ミカサ、アルミン、リヴァイ、ハンジの5人(予定)。人気のキャラクターと一緒に展示を回遊するような感覚が味わえる、マニア必携のガイドです。

<360° 体感シアター“哮”>

バーチャルに兵団の一員となって「立体機動装置」の浮遊感が体験できる、『Oculus Rift』による 360° の 3D シアターです。最新の映像技術が「進撃の巨人」の物語空間を出現させ、実際にその場にいるような圧倒的な没入感を味わえます。現在の映像技術ではこれ以上ない、「進撃の巨人」の仮想現実空間です。

【漫画「進撃の巨人」】

コミック累計発行部数 4000 万部を超え、海外でも翻訳版が人気を集めるなど、日本のみならず世界中に衝撃を与えつづける作品(現在1～14巻、講談社刊)。その魅力は、作者・諫山創の描き出す物語世界。人類を捕食する謎多き「巨人」、巨人の侵入を阻む高い「壁」に囲まれた人類の居住地、巨人に対抗するために開発された「立体機動装置」、…などの独創的モチーフは、一読した読者の心を離さない。アニメやゲームはもちろん、映画や CM、多数の企業とのコラボレーション企画など、影響はあらゆるメディアに広がりを見せており、今や、日本で最も読まれている漫画と言っても過言ではない。

